

# 2023年3月期 決算説明資料

---

株式会社 高松コンストラクショングループ 証券コード：1762

2023年5月10日

1. 2023年3月期 決算 . . . . .	2
2. 2024年3月期 業績予想・配当予想 . . . . .	23
3. トピックス . . . . .	27

# 2023年3月期 決算

---

# グループ組織再編

## 1) タカマツハウス関西 設立



成長著しい木造戸建住宅事業を近畿地区にも展開。  
木造戸建住宅関連事業の営業・企画・販売をおこなう。

名称	タカマツハウス関西
所在地	大阪市淀川区
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 八木 謙二
資本金	1億円
設立年月日	2022年11月1日
株主および持株比率	高松コンストラクショングループ 100%
社員数	19名（2023年3月末現在）

# グループ組織再編

2) 高松テクノサービス（大阪）と高松テクノサービス（東京）を合併（2023年4月1日付）  
高松テクノサービス（大阪）を存続会社とし高松テクノサービス（東京）を消滅会社とする吸収合併方式。

（合併当事会社の概要）

	存続会社	消滅会社
名称	高松テクノサービス（大阪）	高松テクノサービス（東京）
所在地	大阪市淀川区	東京都千代田区
設立年月日	1993年3月2日	1997年4月1日
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 栗原 謙一	代表取締役社長 松井 公平
資本金	300百万円	300百万円

（合併後の状況）

名称	高松テクノサービス
所在地	大阪市淀川区
設立年月日	1993年3月2日
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 松井 公平
資本金	300百万円

# グループ組織再編

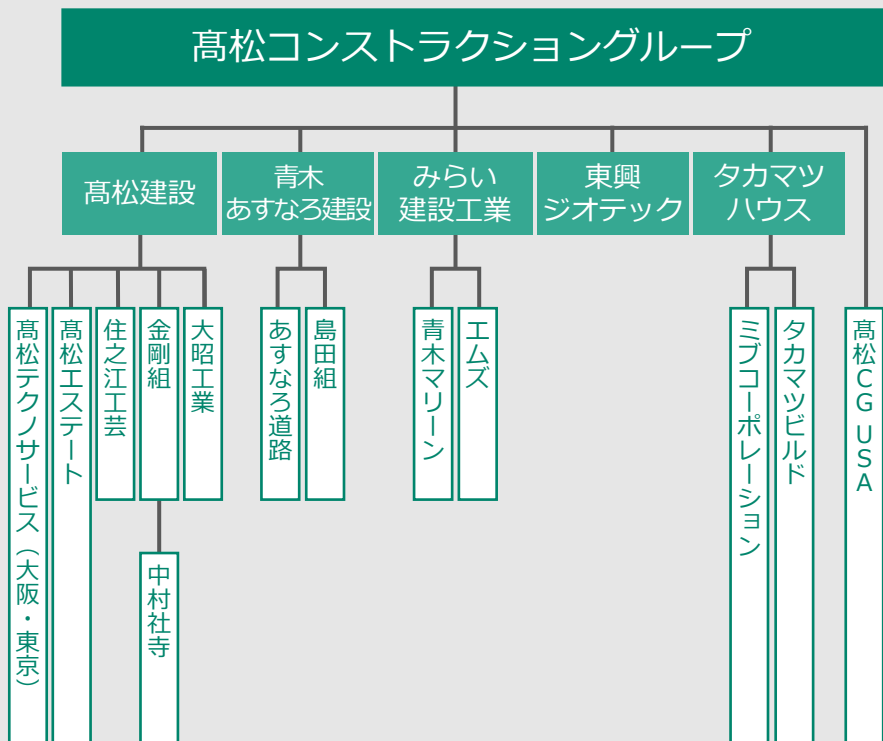
## 3) あすなる道路売却（2023年3月31日付）

当社連結子会社である青木あすなる建設は、同社の子会社にあたるあすなる道路を株式会社佐藤渡辺に譲渡。

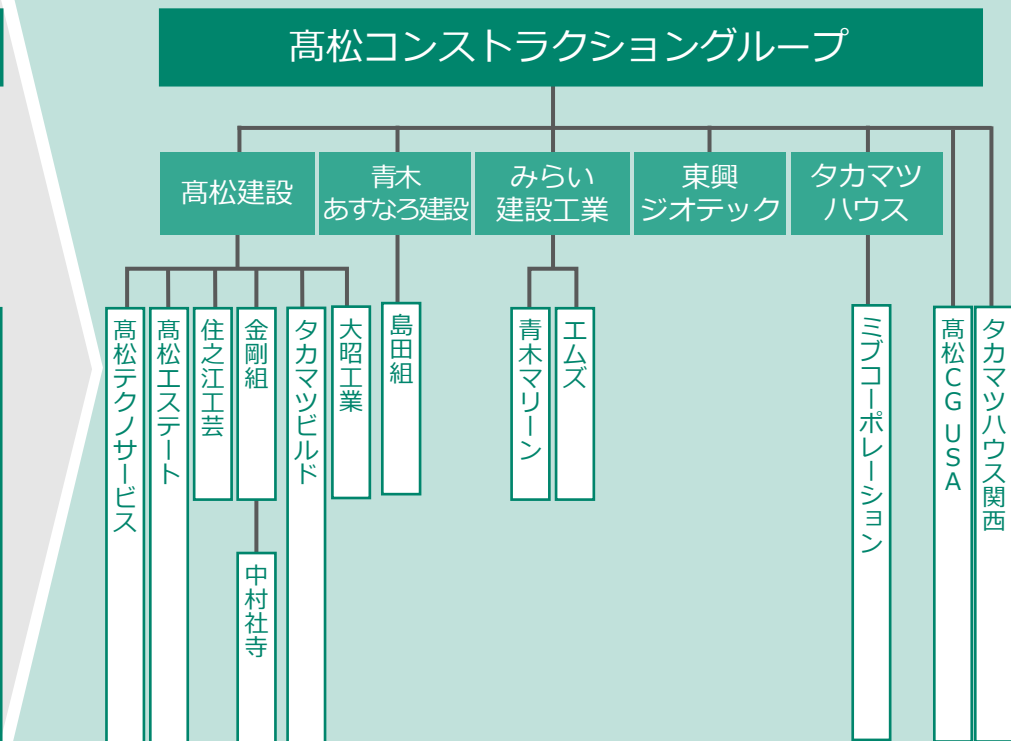
## 4) タカマツビルドを高松建設の子会社へ再編（2023年4月3日付）

タカマツビルド（旧称：タツミプランニング）を、タカマツハウスの子会社から高松建設の子会社へ再編。

2022年度



2023年度



# 企業集団の状況（2022年度）

土木	建築	不動産	主要営業エリア
	高松建設		東京・大阪・名古屋
	高松テクノサービス(大阪)		大阪
	高松テクノサービス(東京)		東京
		高松エステート	大阪・東京
	住之江工芸		国内（全国）
	金剛組		大阪・東京
	中村社寺		名古屋
	大昭工業		大阪
	青木あすなる建設		国内（全国）
あすなる道路			北海道
島田組			国内（全国）
	みらい建設工業		国内（全国）
青木マリーン			国内（全国）
	エムズ		首都圏
東興ジオテック			国内（全国）
		タカマツハウス	東京・神奈川・埼玉
		ミブコーポレーション	東京・神奈川
	タカマツビルド		東京・神奈川
		高松CG USA	米国
高松コンストラクショングループ（純粋持株会社）			

# 企業集団の状況（2023年度）

土木	建築	不動産	主要営業エリア
	高松建設		東京・大阪・名古屋
	高松テクノサービス		大阪・東京
		高松エステート	大阪・東京
	住之江工芸		国内（全国）
	金剛組		大阪・東京
	中村社寺		名古屋
	タカマツビルド		東京・神奈川
	大昭工業		大阪
	青木あすなろ建設		国内（全国）
島田組			国内（全国）
みらい建設工業			国内（全国）
青木マリーン			国内（全国）
	エムズ		首都圏
東興ジオテック			国内（全国）
		タカマツハウス	東京・神奈川・埼玉
		ミブコーポレーション	東京・神奈川
		タカマツハウス関西	大阪・兵庫
		高松CG USA	米国
高松コンストラクショングループ（純粋持株会社）			



# 2023年3月期 業績推移

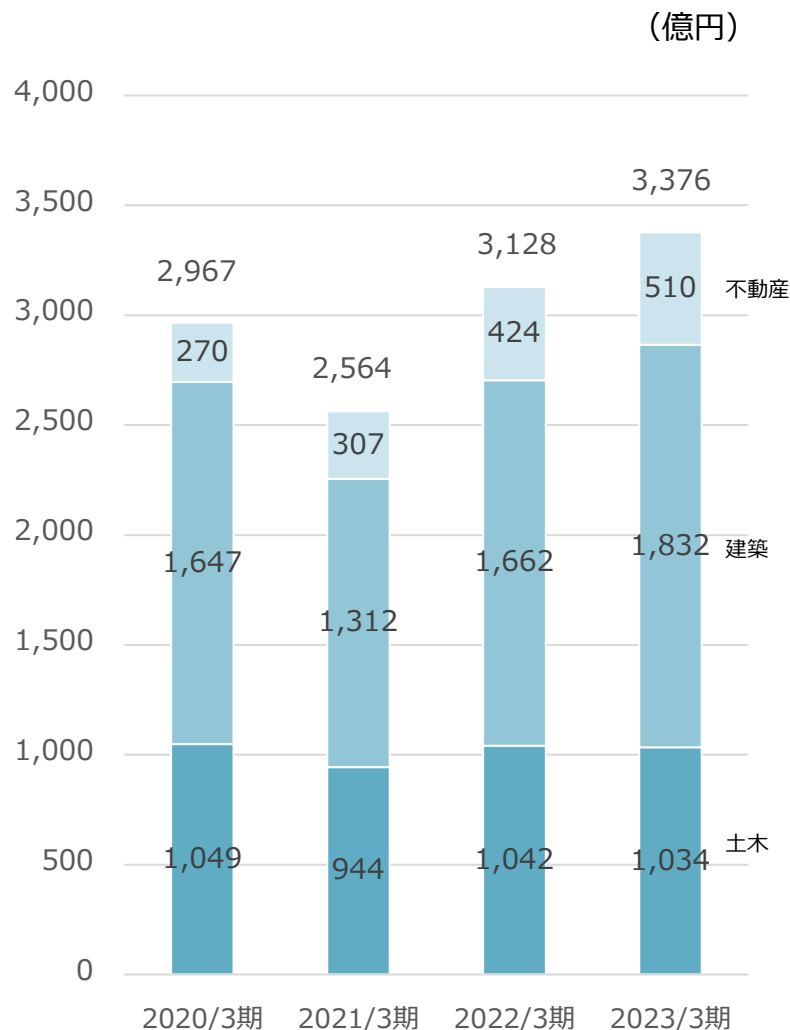
(億円)

項目	2020/3期	2021/3期	2022/3期	2023/3期	増減率
受注高	2,967	2,564	3,128	↑ 3,376	+7.9%
売上高	2,823	2,830	2,639	↑ 2,824	+7.0%
売上総利益	399	383	385	↑ 420	+9.0%
売上総利益率	14.2%	13.5%	14.6%	↑ 14.9%	+0.3pt
営業利益	147	121	112	↑ 120	+7.2%
営業利益率	5.2%	4.3%	4.3%	→ 4.3%	0pt
経常利益	143	121	114	↑ 117	+2.4%
経常利益率	5.1%	4.3%	4.4%	↓ 4.2%	△0.2pt
親会社株主帰属 当期純利益	86	74	67	↑ 75	+12.0%
当期純利益率	3.1%	2.6%	2.5%	↑ 2.7%	+0.2pt

# セグメント別 受注高

◆ 土木はみらい建設工業で大幅増も、東興ジオテックでの減少が影響し、前年比△0.8%と微減。建築は高松建設、青木あすなろ建設の受注増で+10.2%。不動産はタカマツハウスが好調を維持し前年比+20.1%。

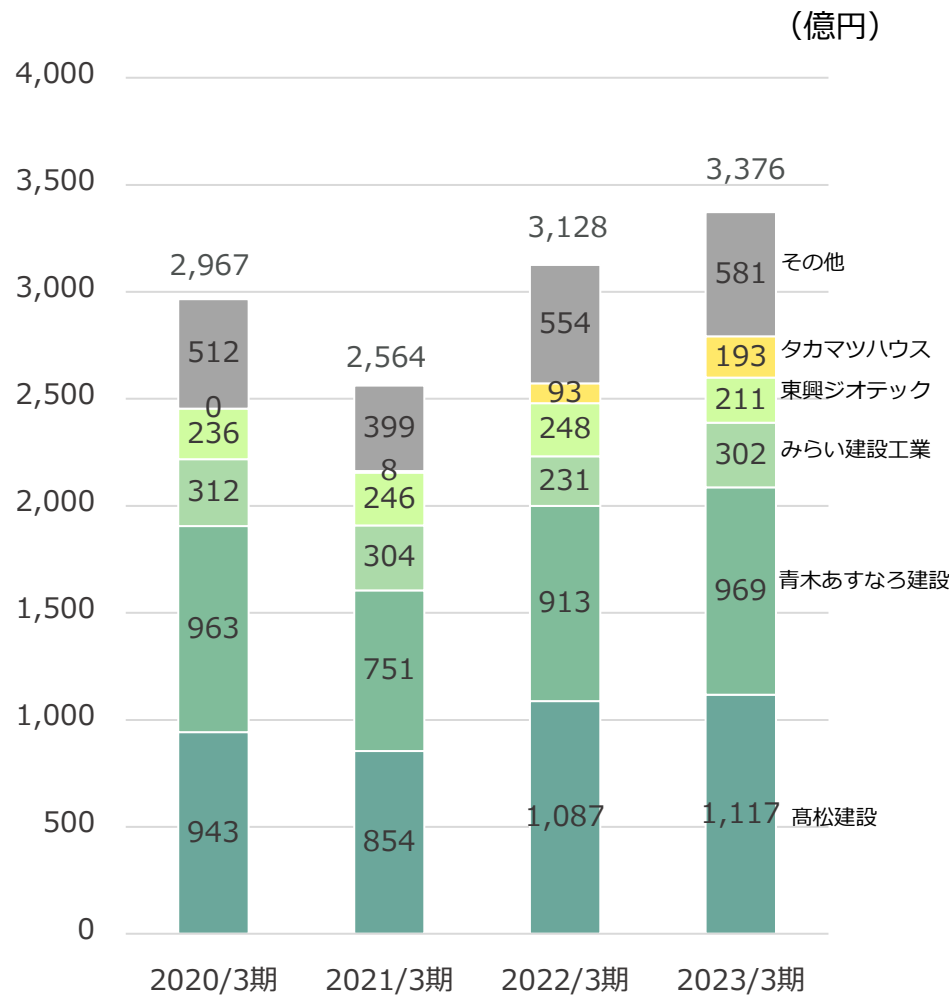
セグメント別	2020/3	2021/3	2022/3	2023/3
土木	104,910	94,445	104,235	103,438
建築	164,771	131,290	166,206	183,241
不動産	27,065	30,717	42,447	51,000
連結合計	296,746	256,453	312,889	337,680



# 中核事業会社別 受注高

◆ 高松建設は前年比+2.7%と微増、青木あすなる建設は前年比+6.1%、みらい建設工業は前年不振だったことによる反動増で、前年比+30.5%、タカマツハウスは好調を維持し前年比約2倍の受注。東興ジオテックは、4Q単体では前年比増も、3Qまでの不振を挽回できず、前年比△14.6%。

会社別	2020/3	2021/3	2022/3	2023/3
高松建設 (単体)	94,340	85,494	108,721	111,702
青木あすなる 建設 (単体)	96,345	75,120	91,386	96,961
みらい 建設工業 (単体)	31,204	30,402	23,194	30,264
東興 ジオテック (単体)	23,604	24,617	24,810	21,188
タカマツ ハウス (単体)	-	843	9,309	19,366
その他 (含連結調整)	51,253	39,977	55,469	58,199
連結合計	296,746	256,453	312,889	337,680



# 中核事業会社別 次期繰越高

- ◆ 2Qでのごみ処理施設や3Qでの複合施設など大型工事の受注により、高松建設で前年比+14.4%、青木あすなろ建設で前年比+14.0%の増加。東興ジオテックは上期からの不振が続き△7.3%。その他中核5社以外のグループ会社では、高松テクノサービス（大阪+東京）で+40.6%、島田組で約2.2倍などの増加があり、+72.5%。全体で+15.0%となった。

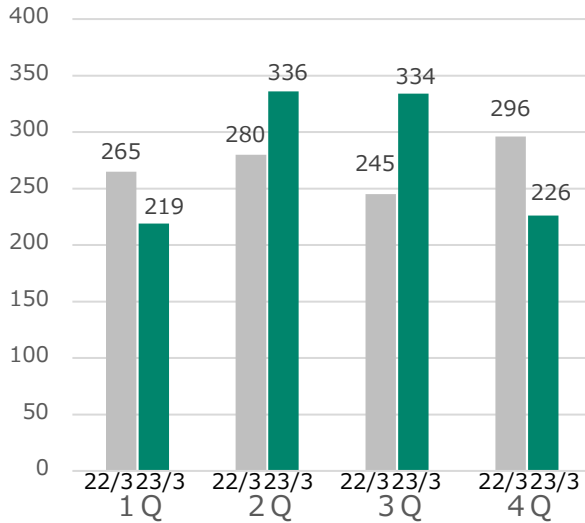
(百万円)

会社別		2022/3	2023/3	増減額	増減率
高松建設 (単体)		177,645	203,291	↑ 25,646	+14.4%
青木あすなろ建設 (単体)	土木	62,110	66,752	↑ 4,642	+7.5%
	建築	72,197	86,358	↑ 14,161	+19.6%
	合計	134,307	153,110	↑ 18,803	+14.0%
みらい建設工業 (単体)		31,476	34,810	↑ 3,334	+10.6%
東興ジオテック (単体)		10,975	10,172	↓ △803	△7.3%
タカマツハウス (単体)		2,503	2,685	↑ 182	+7.3%
その他 (含連結調整)		11,060	19,083	↑ 8,023	+72.5%
連結合計		367,966	423,151	↑ 55,184	+15.0%

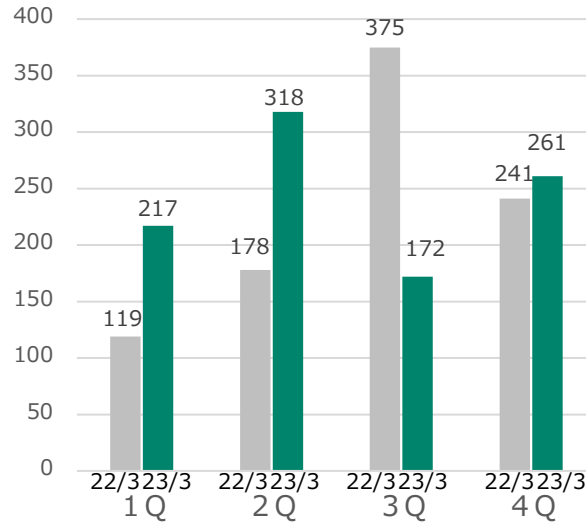
# 中核5社と連結合計の四半期ごとの受注高

(※ 数値は累計値ではなく四半期ごとの金額)

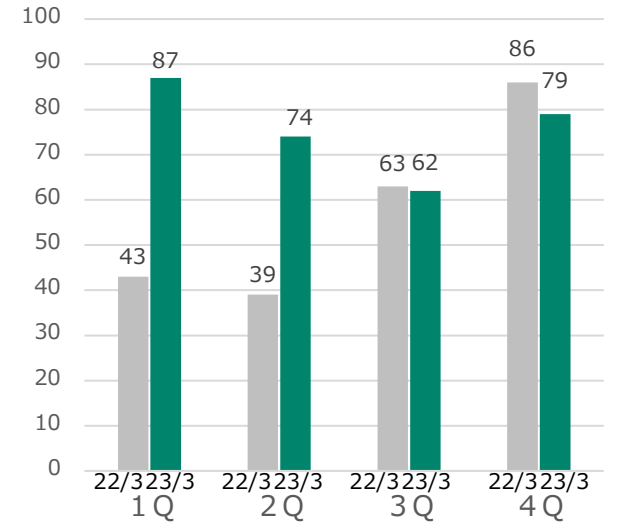
### 高松建設



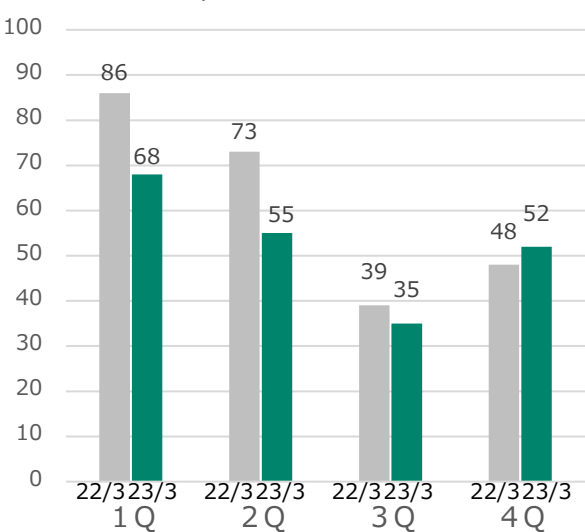
### 青木あすなろ建設



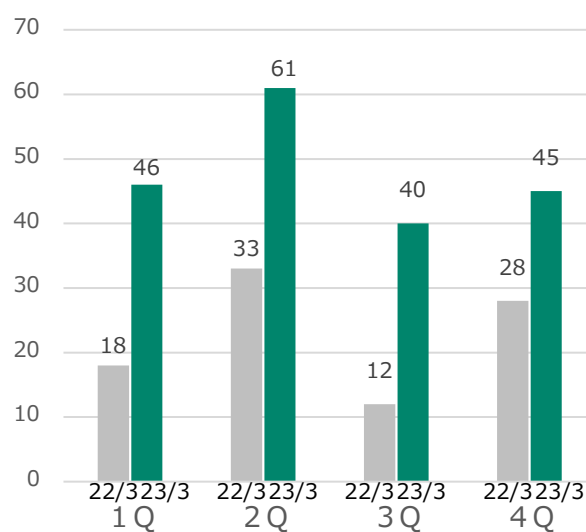
### みらい建設工業 (億円)



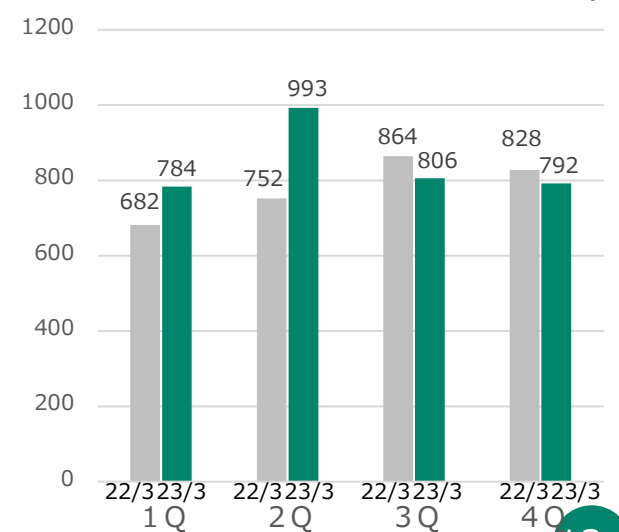
### 東興ジオテック



### タカマツハウス



### 連結合計 (億円)



# 高松建設 マンション・非マンション別受注高

- ◆ 東京はマンション・非マンションともに前年比減だが、大阪は2Q、3Qでの大型案件受注や、4Qでも物流施設の大型案件受注があったことにより非マンションで受注が増加し、高松建設全社では前年実績を上回った。

マンション・非マンション別 受注高

(百万円)

	大阪				東京			
	2022/3	構成比	2023/3	構成比	2022/3	構成比	2023/3	構成比
マンション	18,125	37.6%	15,422	24.9%	43,538	72.0%	37,157	74.7%
非マンション	30,095	62.4%	46,521	75.1%	16,964	28.0%	12,603	25.3%
合計	48,220	100%	61,943	100%	60,502	100%	49,759	100%

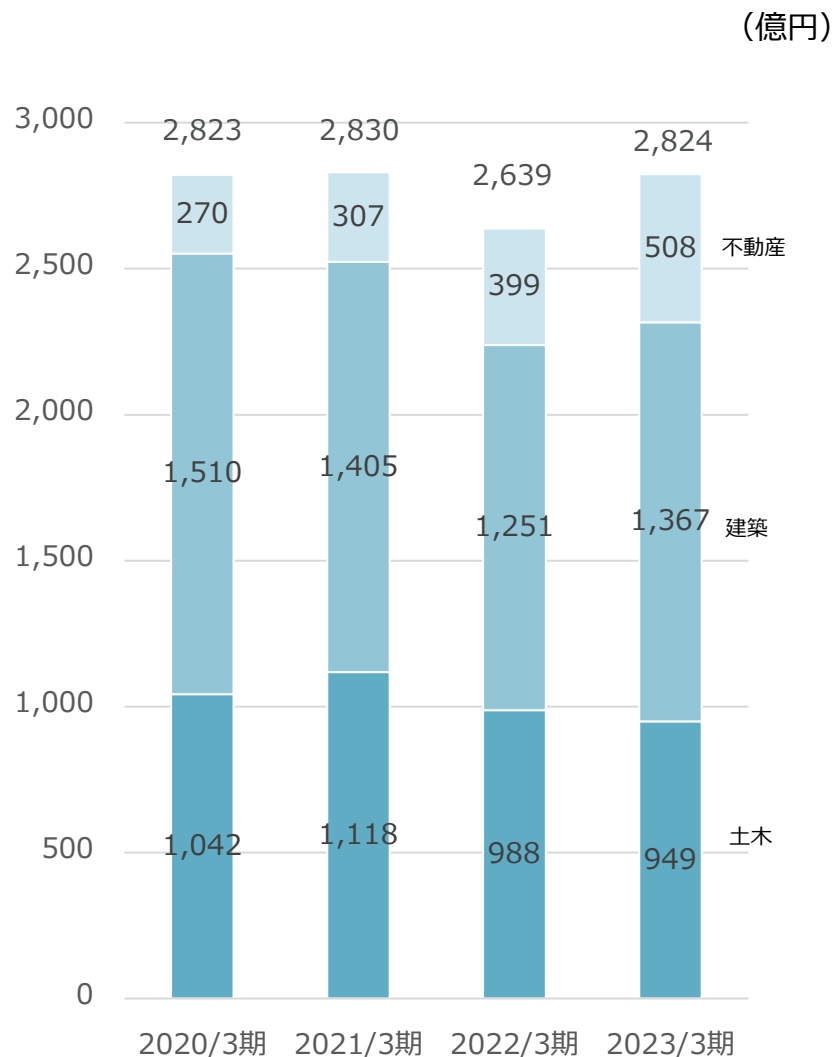
※数値はグループ会社間取引を含む。

# セグメント別 売上高

◆ 土木は東興ジオテックの減少などが影響し△4.0%。建築は高松建設の増加により、+9.3%、不動産はタカマツハウスが好調を維持し+27.2%と大幅増。

(百万円)

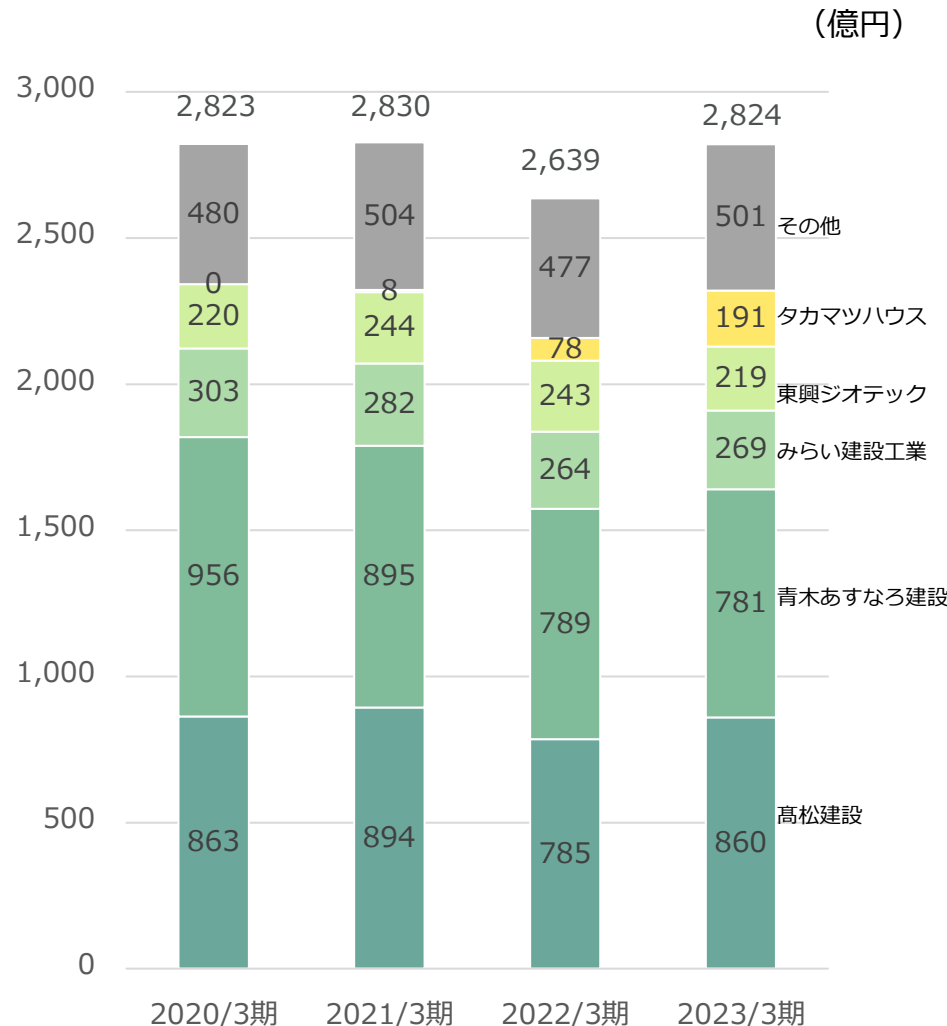
セグメント別	2020/3	2021/3	2022/3	2023/3
土木	104,299	111,826	98,826	94,902
建築	151,002	140,537	125,136	136,774
不動産	27,065	30,717	39,944	50,818
連結合計	282,366	283,080	263,907	282,495



# 中核事業会社別 売上高

◆ 高松建設で+9.6%、青木あすなる建設は△1.1%と微減。みらい建設工業は+1.9%。東興ジオテックは3Qまでの受注不振が影響し△9.6%。タカマツハウスは順調に売上を伸ばし、前年比約2.4倍。

会社別	2020/3	2021/3	2022/3	2023/3
高松建設 (単体)	86,305	89,425	78,539	86,056
青木あすなる 建設 (単体)	95,609	89,578	78,991	78,158
みらい 建設工業 (単体)	30,315	28,249	26,424	26,929
東興 ジオテック (単体)	22,076	24,488	24,320	21,990
タカマツ ハウス (単体)	-	843	7,880	19,184
その他 (含連結調整)	48,061	50,497	47,754	50,178
連結合計	282,366	283,080	263,907	282,495



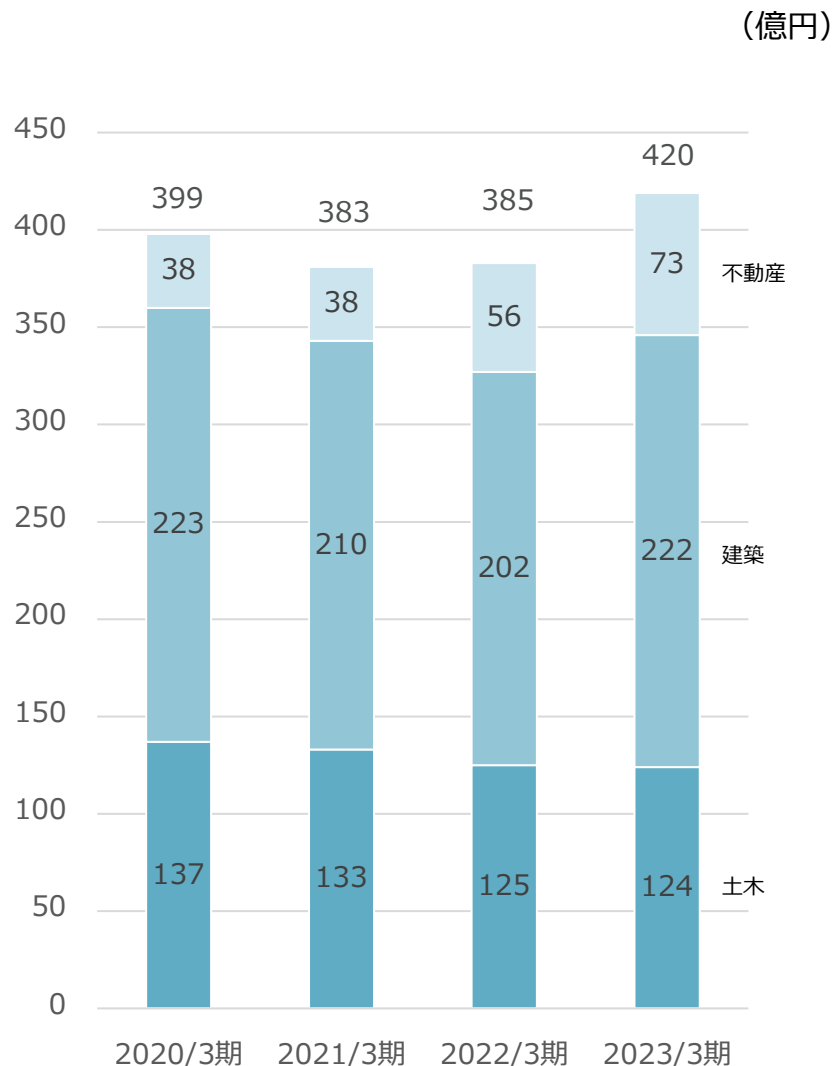


# セグメント別 売上総利益

◆ 土木は青木あすなろ建設、みらい建設工業で増加も、東興ジオテックの減少により△0.4%の微減、建築は高松建設の増加により前年比+9.6%。不動産はタカマツハウスが好調を維持し+29.1%。

(百万円)

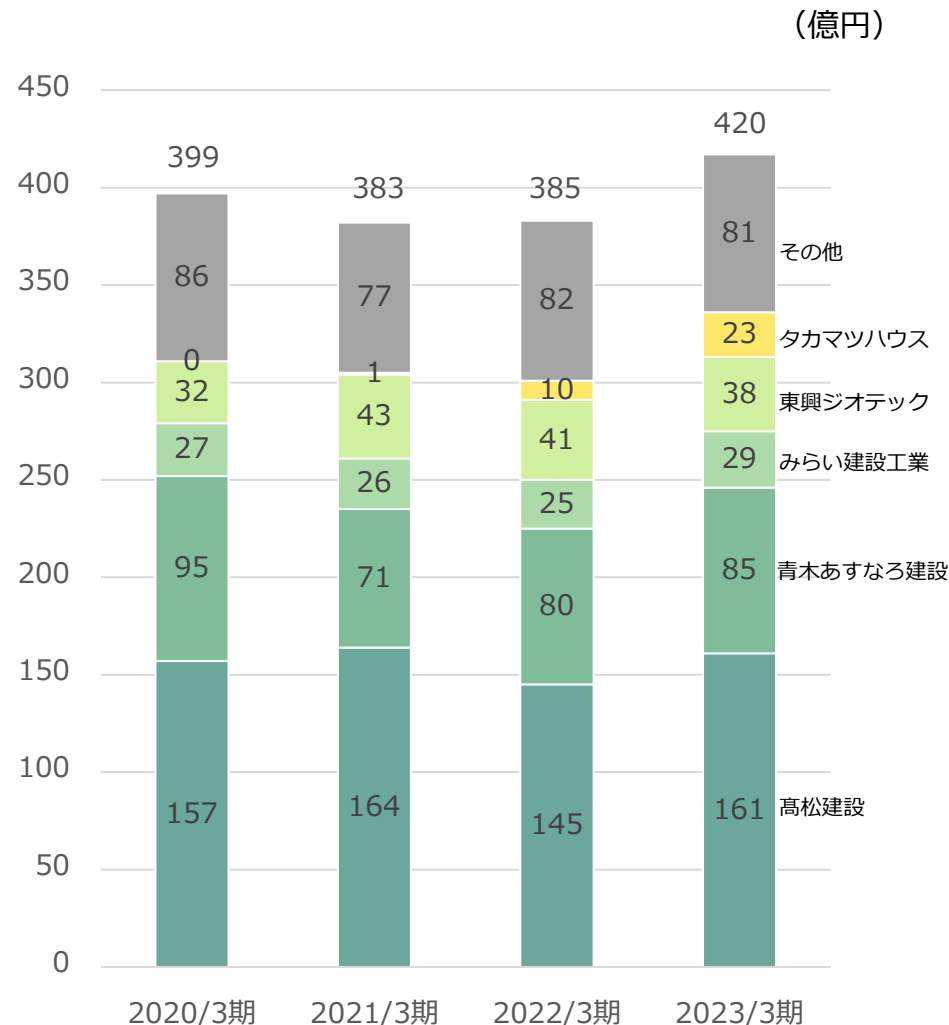
セグメント別	2020/3	2021/3	2022/3	2023/3
土木	13,705	13,395	12,536	12,488
建築	22,378	21,081	20,289	22,232
不動産	3,873	3,829	5,654	7,301
連結合計	39,957	38,305	38,542	42,022



# 中核事業会社別 売上総利益

◆ 高松建設は売上の増加により前年比+11.2%、青木あすなる建設は+5.8%。みらい建設工業も売上の増加により+15.0%、東興ジオテックは売上の減少により売上総利益△6.7%。タカマツハウスは好調を維持し前年比約2.3倍と大幅増。

会社別	2020/3	2021/3	2022/3	2023/3
高松建設 (単体)	15,786	16,408	14,541	16,169
青木あすなる 建設 (単体)	9,558	7,114	8,033	8,501
みらい 建設工業 (単体)	2,700	2,639	2,580	2,967
東興 ジオテック (単体)	3,234	4,310	4,118	3,844
タカマツ ハウス (単体)	-	123	1,038	2,389
その他 (含連結調整)	8,679	7,711	8,234	8,152
連結合計	39,957	38,305	38,542	42,022



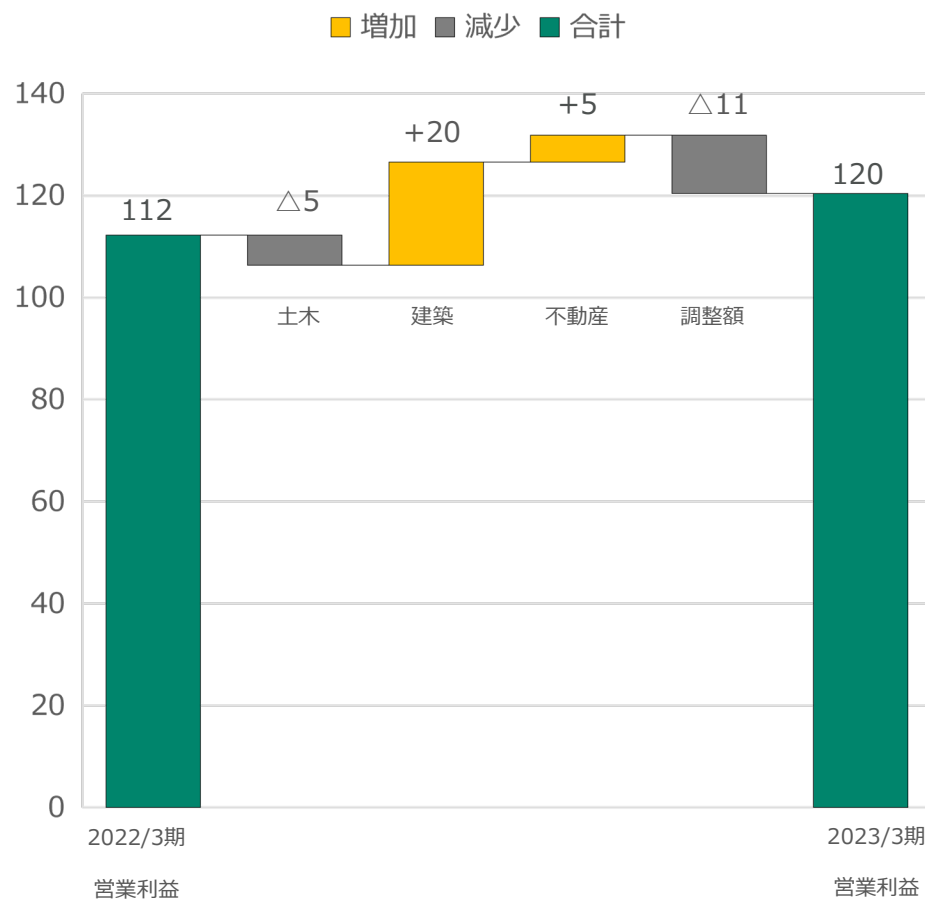
# セグメント別 営業利益

◆ 土木は青木あすなろ建設、みらい建設工業で営業利益増も、東興ジオテックの営業利益減が響き、前年比△8.2%。建築は、高松建設の営業利益大幅増などにより前年比+40.4%。不動産はタカマツハウスで好調を維持し+16.5%。

(億円)

(百万円)

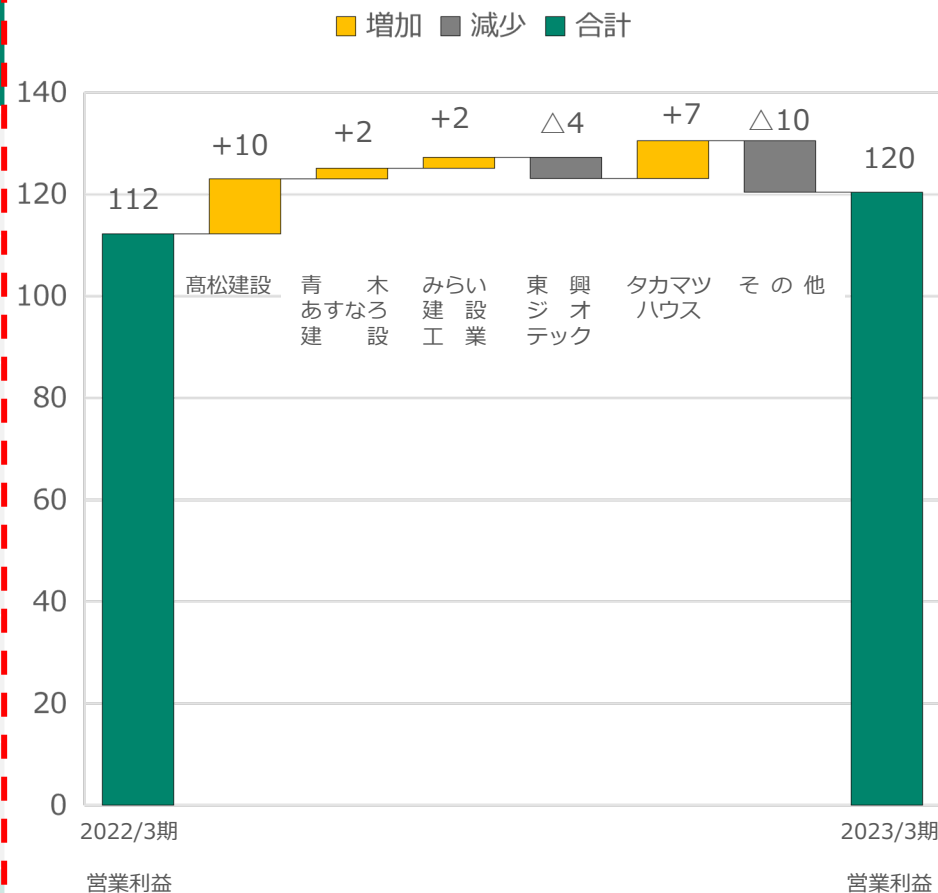
セグメント別	2020/3	2021/3	2022/3	2023/3
土木	8,545	8,166	7,297	6,702
建築	8,235	6,035	5,011	7,035
不動産	1,921	1,886	3,227	3,761
連結調整	△3,982	△3,889	△4,311	△5,459
連結合計	14,720	12,198	11,225	12,038



# 中核事業会社別 営業利益

◆ 高松建設は人件費は増加しているものの、売上の増加により前年比+25.8%と大幅増。青木あすなろ建設は+8.7%。みらい建設工業は、スライド条項適用により採算が向上した案件などがあり、+29.2%と大幅増。東興ジオテックは売上の減少と人件費の増加で△17.1%。タカマツハウスは人件費が増加しているものの売上の大幅な伸びにより前年比約7.9倍と大幅増。その他、高松コンストラクショングループの人件費増や、中核5社以外のグループ会社で△71.1%となったことにより、連結で+7.2%に留まる。

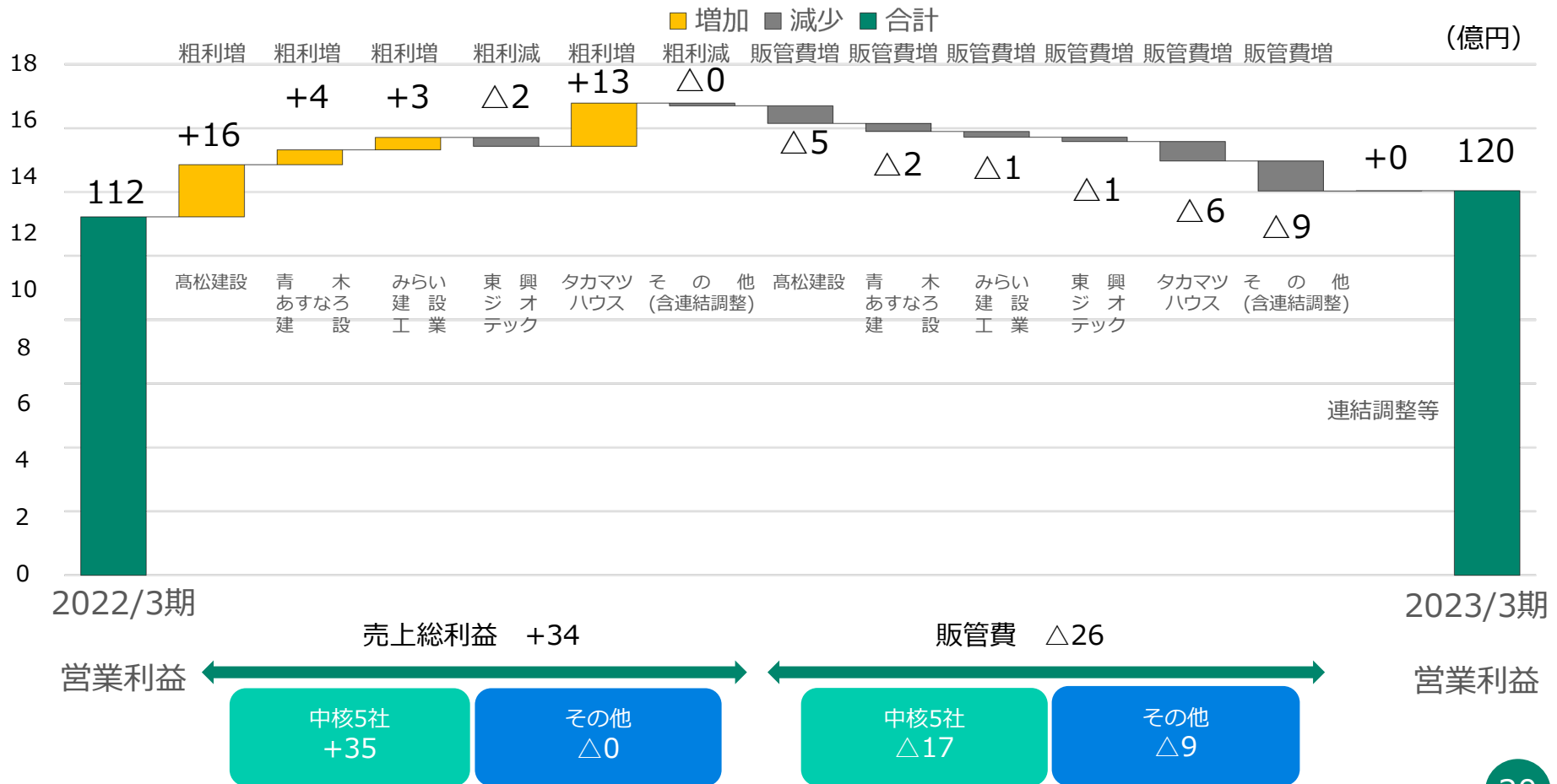
会社別	2020/3	2021/3	2022/3	2023/3
高松建設 (単体)	5,978	6,206	4,191	5,271
青木あすなろ 建設 (単体)	3,964	1,507	2,368	2,574
みらい 建設工業 (単体)	806	816	725	937
東興 ジオテック (単体)	1,652	2,640	2,403	1,992
タカマツ ハウス (単体)	△150	△266	107	851
その他 (含連結調整)	2,320	1,029	1,431	413
連結合計	14,720	12,198	11,225	12,038



# 売上総利益・販管費 営業利益増減分析

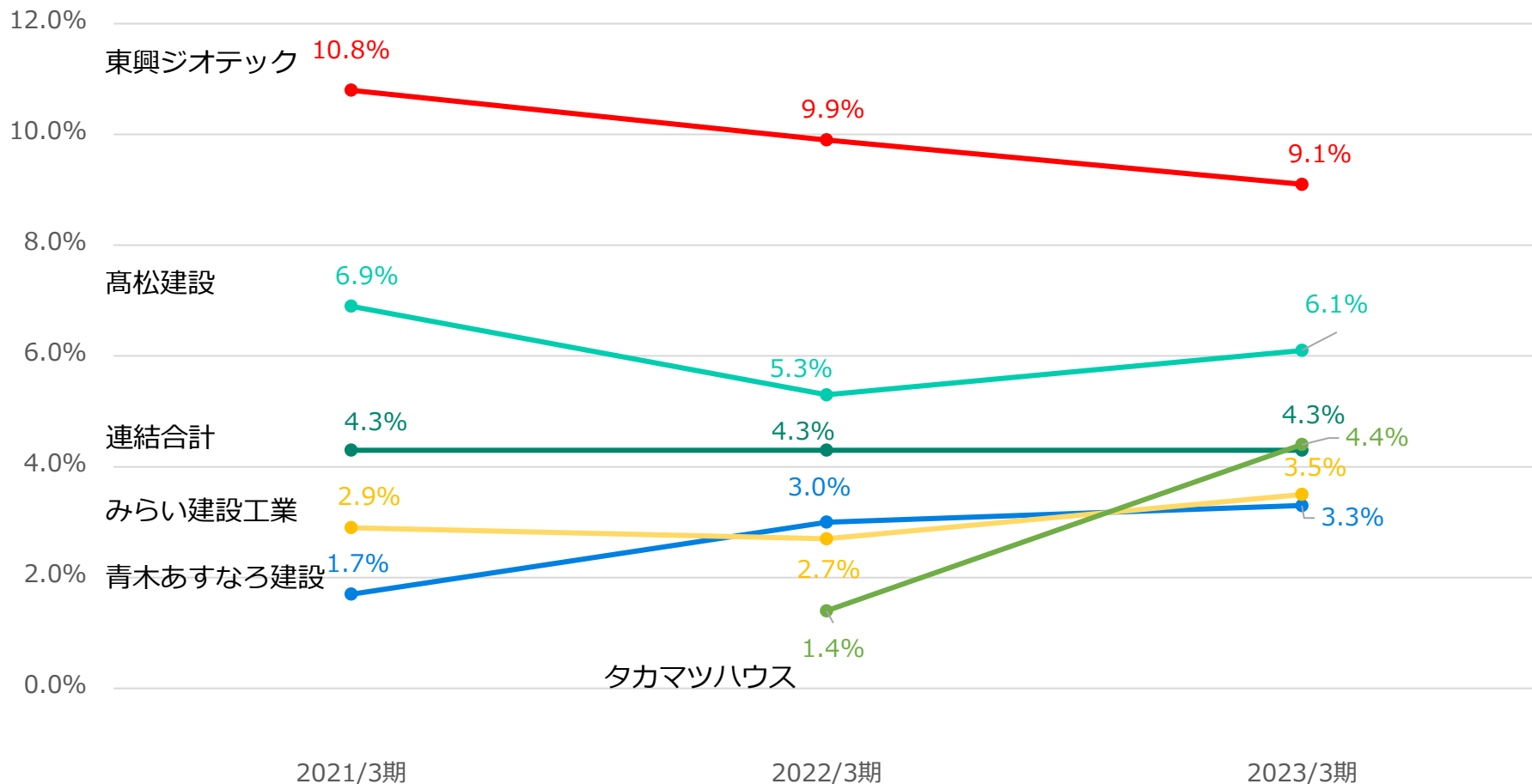
◆ 東興ジオテック、中核5社以外の各社の売上総利益減を、その他の売上総利益増で補い、全体としては前年比で約34億円の売上総利益増。販管費は主に高松建設、タカマツハウスで人件費が増加しており、中核5社以外の会社でも人件費が増加したため、全体で約26億円の増加。

## 営業利益増減分析



# 連結合計と中核5社の営業利益率

- ◆ 高松建設の売上総利益率は前年比+0.3pt、販管費のうち主に人件費が増加するも、営業利益率は前年比+0.8pt。青木あすなろ建設は売上総利益率は+0.7ptも、販管費が全体的に増加し、営業利益率は+0.3pt。
- ◆ タカマツハウスは人件費が増加し、売上総利益率も前年比△0.7ptだったが、売上の大幅増により営業利益率は前年比+3ptと大幅増。
- ◆ 東興ジオテックは売上総利益率+0.6ptも、売上の減少、販管費のうち主に人件費の増加で営業利益率△0.8pt。みらい建設工業は売上総利益率+0.6ptで、販管費のうち主に人件費が増加するも、営業利益率+0.8pt。



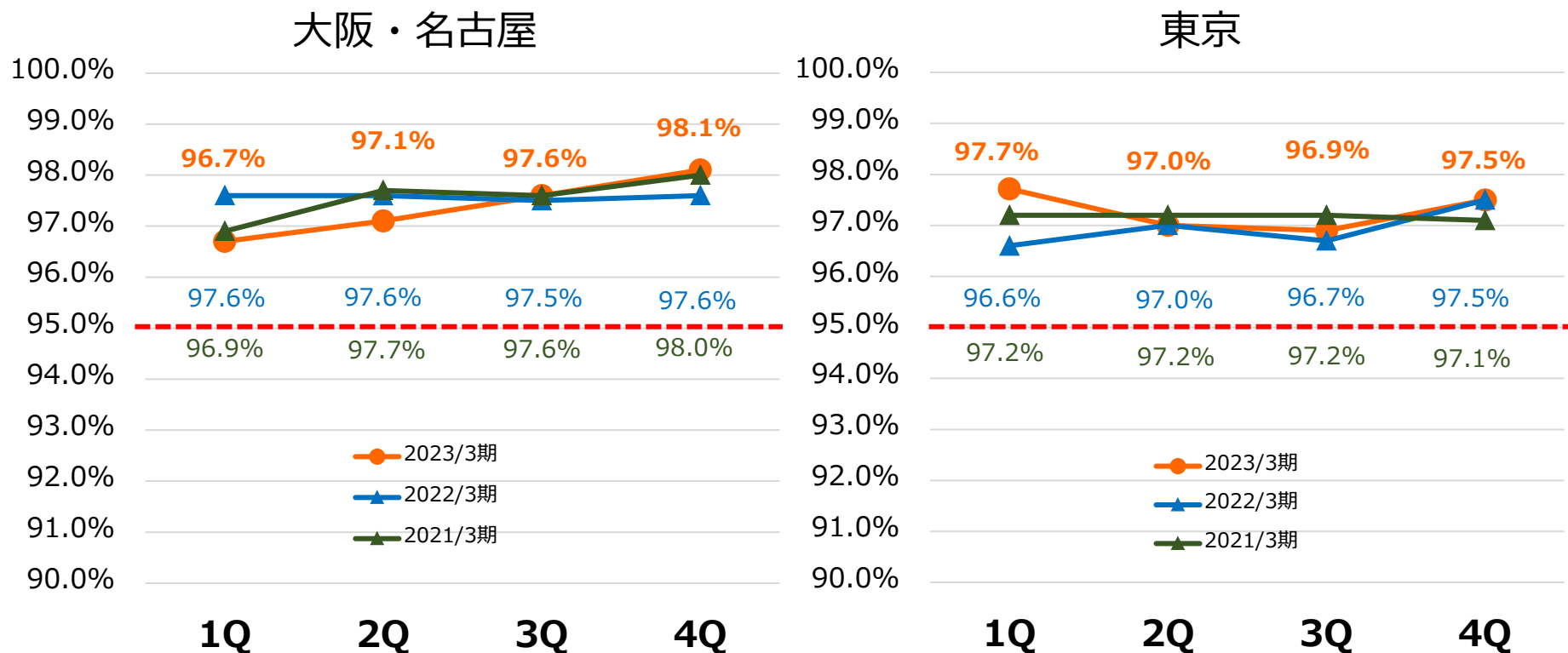
※タカマツハウスは2021年3月期が実質立ち上げ初年度のため2022年3月期から記載。

※個社の数値はグループ会社間取引を含む。

©2023 TAKAMATSU CONSTRUCTION GROUP CO., LTD.

# 高松エステートにおける高松建設施工物件の入居率

◆ 入居率は23/3月期も95%以上を維持。



定義：

「大阪・名古屋」＝大阪府、京都府、兵庫県、名古屋市

「東京」＝東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県

「入居率」＝各四半期末時点の高松エステートが管理している高松建設施工物件の入居戸数  
 ÷ 各四半期末時点の高松エステートが管理している高松建設施工物件の総戸数

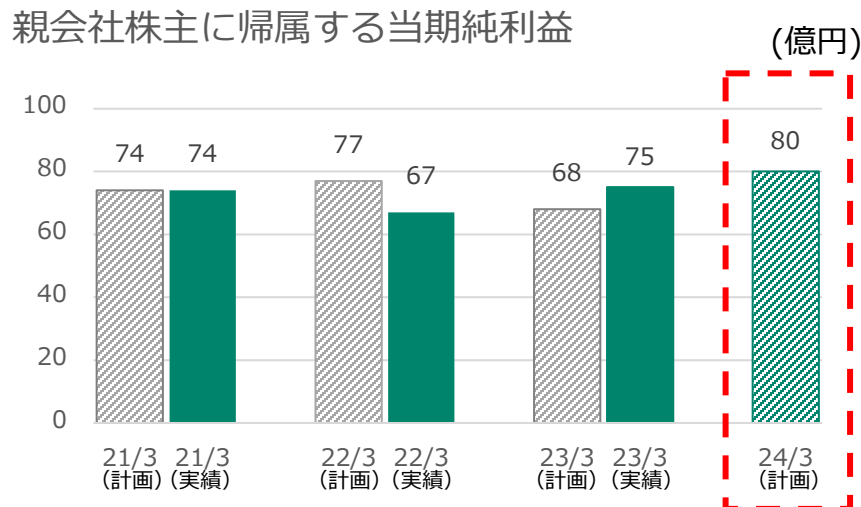
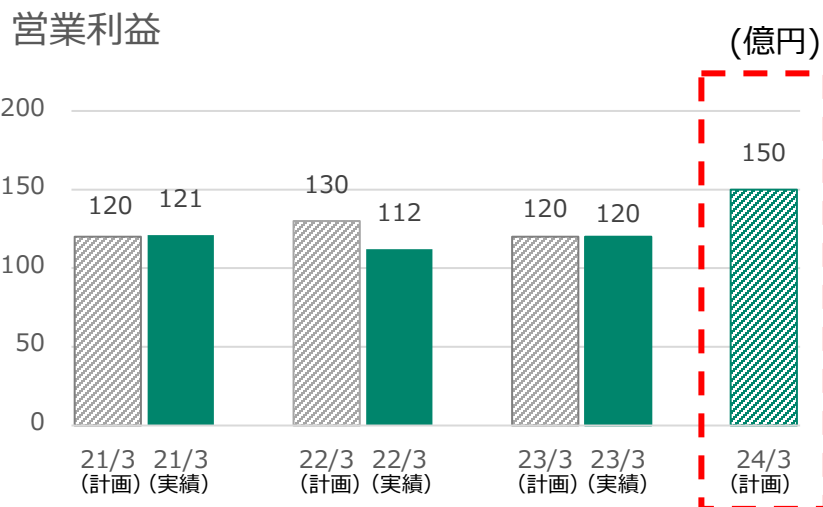
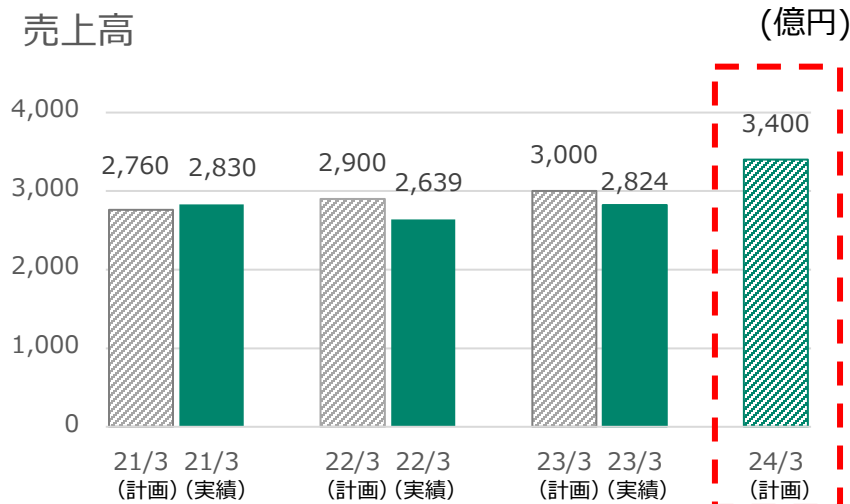
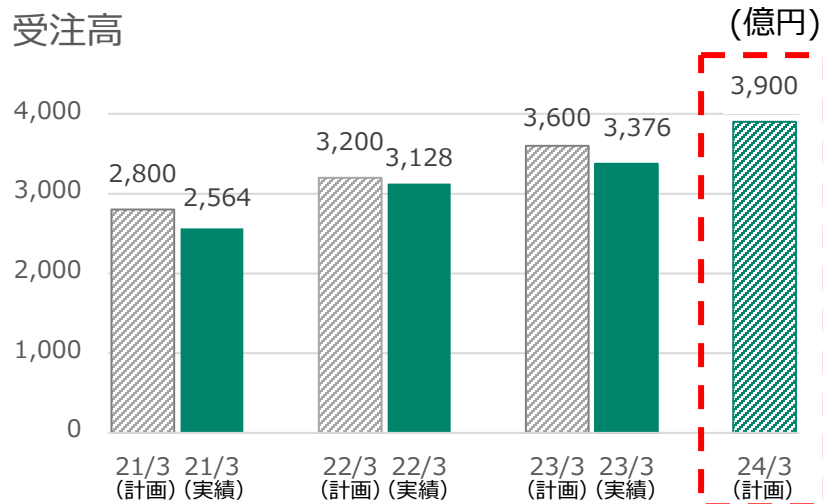
2024年3月期  
業績予想・配当予想

---



# 2024年3月期 業績予想

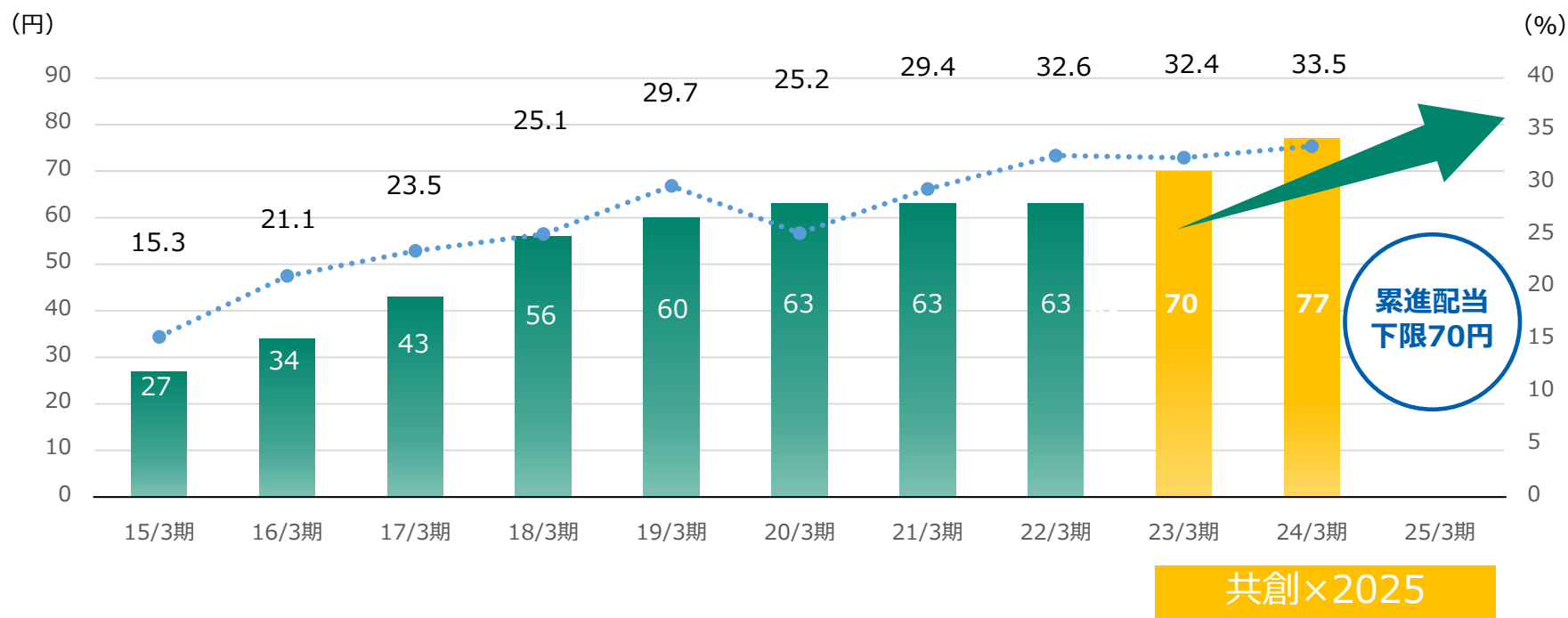
◆ 2024年3月期は中期経営計画に沿った業績予想。受注高はタカマツハウスが大幅増を見込み、土木でも微増を見込む。建築においても、主に高松建設が順調な成長を見込み、売上高と営業利益もそれにあわせて増加。



# 2024年3月期 配当予想（配当額・配当性向）

- ◆ 中期経営計画「共創×2025」（2023年3月期～2025年3月期）の対象年度においては**累進配当**を基本方針とし、年間の1株当たり配当金額の**下限を70円に設定**。業績に連動した利益還元をおこなう。
- ◆ 2023年3月期の配当額は1株当たり70円と、期初発表の63円より**7円の増額**。
- ◆ 2024年3月期の配当額は1株当たり77円と、2023年3月期配当額より**7円の増額**予定。

## 配当額・配当性向 推移



トピックス

---

# トピックス

## ◆ 高松建設

### ○ 「(仮称) 薬院大通・誠新産業株式会社マンション」新築工事

高松建設が設計施工を担当。脱炭素を意識し、住戸内設備はオール電化、給湯は「エコキュート」または電気温水器、キッチンにはIHクッキングヒーターを設置する。防犯対策にも力を入れ、瞳の「虹彩」で本人認証する「虹彩認証エントランスセキュリティシステム」と、これに連動した自動呼出しエレベーターも導入予定。電気自動車の普通充電にも対応できるよう準備を進めていく方針。

- ・発注者：誠新産業株式会社（福岡市中央区）
- ・場所：福岡市中央区薬院2丁目18-9
- ・着工：2023年3月1日
- ・竣工：2024年6月末（予定）
- ・構造・規模：RC造10階建て
- ・敷地面積：824㎡
- ・延床面積：3,970㎡



## ◆ 高松コンストラクショングループ

○中核5社で新卒採用者の初任給引き上げ  
2020年改定より据え置かれていた新卒者の初任給をグループ中核5社で引き上げる。初任給の引き上げは業界全体でもおこなわれており、今回業界水準並みへと改定する。初任給引き上げに伴う賃金カーブの維持・是正のため、ベースアップは他社状況等を踏まえ、審議を進めていく。

- 2023年4月入社 中核5社 大学卒業者初任給
- ・高松建設：245,000円（前年度比+5,000円）
- ・青木あすなろ建設：245,000円（前年度比+5,000円）
- ・みらい建設工業：245,000円（前年度比+5,000円）
- ・東興ジオテック：240,000円（前年度比+11,000円）
- ・タカマツハウス：245,000円～251,000円（前年度比+3,500円）

## ◆ タカマツハウス

### ○ミラクラス中野 [全3棟]

- ・竣工：2023年3月末
- ・JR中央・総武線、東京メトロ東西線『中野』駅より徒歩9分
- ・東京メトロ丸ノ内線『新中野』駅より徒歩9分、『東高円寺』駅より徒歩10分
- ・金額：9,980万円～10,280万円
- ・土地面積：66.16㎡(20.01坪)～67.08㎡(20.29坪)
- ・建物面積：112.70㎡(34.09坪)～113.32㎡(34.27坪)



# 高松コンストラクショングループ

本資料に記載されている将来に関する記述は、本資料作成日現在で入手可能な情報にもとづいて作成したものであり、実際の実績等は今後様々な要因によって異なる可能性があります。また、当資料は投資家判断の参考となる情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却を勧誘するものではありません。